



帯広西ロータリークラブ

第2421回例会

会報

2023.2.24



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

会長報告

奥 敏則 会長

皆さんこんばんは。会長報告をいたします。
まず、先週お話をしましたトルコシリア大地震の件ですが、正式にRI2500地区久木ガバナリーより義援金の要請がありました。我々が収めたロータリー財団への年次寄付と恒久基金の運用益を合わせた者の50パーセントが地区に戻ってきますが、一部DDF（地区財団活動資金）として使い、我々が集めた義援金と合わせて災害地へ送るといった案内の文章が届きました。最新の現地の情報としては、死者はすでに5万人を超え、コレラなどの疫病も流行りだしたということです。被害は、大きくなる一方です。次回の例会で、国際奉仕委員会より義援金のお話があり、義援金を集めるという手筈となっております。皆様のご協力をお願い申し上げます。



さて本日は、創立記念例会です。会友であります久保志正先輩にもご出席をいただき、皆さんとともにお祝いをしたと思います。久保先輩ようこそ御出でくださいました。1972年2月24日に創立され、今日がまさに51回目の創立記念日であります。本来開催されるべき例会は木曜日で昨日でしたが、祭日でしたので、今週の例会は休会にして来週の開催でも良かったのですが、例会日をずらしてでも今日行うことに意義があると思ひ、本日の例会開会に至りました。

設立時のチャーターメンバーは、ほとんどが既に鬼籍に入られておられます。少しだけ私が知っているチャーターメンバーのお話をさせていただくと、設立時の頃私が中学生が高校生の頃は、私の父親の先輩や同級生ぐらいにあたる方がほとんどで、父の同業者であり私のスポンサーでもある宮野永さん・森嘉平さん・荒井千秋さんは良く私共の会社に来て、マーチャンをしておりました。たばこの煙の奥に見える屈強なその方たちは、子供の目から見るとどこか怖く異様な雰囲気にも包まれた方ばかりであったような気がいたします。また、お嬢様が私の高校の同級生で、大学1年の夏休みに帰省した折に阿寒湖へ数人でオンボロ車に乗って行ったが、途中車が動かなくなり、門限の時間に間に合わなかったときに私たちの目の前で娘さんに怒り心頭に発した三浦悟さん。当時は、とても怖かったです。70歳近くになってから、私のテニス教室に通っていただき、代わりにゴルフを教えていただいた加賀誠さん。当時自宅が隣で、父親の葬儀委員長をしていた近藤博さん。等々。みなさん、当時の帯広の経済を動かし、文化を作り上げ、押しも押されもせぬ長ばかりでした。が、私が入会してからそういった方々に接すると、実に気さくで温かい方ばかりでした。昨年10月に、無事50周年の記念式典を開催できましたが、私の会長期に周年ができたことは、子供のころからいろいろな方とかわってききた西ロータリークラブに、ある意味何かしらの縁というものを感じています。

今日は、今までの50年の懐かしい話から、これからの新たな半世紀に向けた西ロータリークラブを語る場として、メンバーにお話をいただくことになっております。新しい会員への参考にもなればと思っております。

そんな折に、今日新たに梅田和志君に西ロータリークラブのメンバーに加わっていただくことになりました。帯広西ロータリークラブを楽しんでいただき、これからの新戦力としてご協力いただけますようお願いいたします。
以上で会長報告といたします。

会務報告

森 房明 幹事

①第6分区分IM (Intercity Meeting)開催のご案内

日時 3月18日(土)
午後0時30分 登録受付
場所 ホテル日航ノースランド帯広
13:00 開会式
13:30 ~ 16:50
講演・特別講演・閉会式



17:25 懇親会
講演：「ロータリー財団とロータリー活動にインパクトを」
細川 吉博 パストガバナー
特別講演：「ベネズエラと日本のつながり-今しておくべきこと-」
ベネズエラボリパリ共和国特命全権大使 石川 成光 様

※尚、帯広RC、3月15日(水)の繰下げ例会と致します。
帯広西RC、3月16日(木)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、3月17日(金)の繰下げ例会と致します。
帯広南RC、3月20日(月)の繰上げ例会と致します。
帯広東RC、3月21日(火)の繰上げ例会と致します。

②帯広RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 3月8日(水)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広

③帯広南RC、3月13日(月)の例会は、休会と致します。

帯広RC、3月29日(水)の例会は、休会と致します。
帯広西RC、3月30日(木)の例会は、休会と致します。
帯広北RC、3月31日(金)の例会は、休会と致します。

新入会員紹介

推薦者 森 房明 幹事



梅田 和志 君
この度入会することになりました、梅田和志です。年齢は45歳です。今まで医者の世界でしたが、異業種の方々と関わり視野を広げていきたいので、ご指導よろしくお願ひ致します。

ニコニコ献金

親睦活動委員会 堀内 里恵 副委員長

菊池 俊博 委員長
創立記念例会を本日担当させていただきます。宜しくお願い致します。



鎌田 裕樹 副SAA
長男の所に無事第2子が生まれました。

大友 広明 会員
この度、勝毎に掲載されました。北海道社会貢献賞を頂きました。

堀内 里恵 副委員長
ニコニコ発表しましたのでニコニコさせていただきます。

ニコニコ	2月24日	16,000 円
献金	累計	473,000 円 (2月24日現在)



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

◻プログラム



委員長挨拶 菊池 俊博 プログラム委員長

みなさんこんばんは。今日の例会担当、プログラム委員会菊池です。1972年2月24日、今からちょうど51年前のまさに今日31人のチャーターメンバーによって、帯広西ロータリークラブは発足されました。スクリーンの方に出ている7名の

発起人によるスタートとなりました。今日は西クラブの51回目の創立記念夜間例会となります。多くの会員の方、また会友の久保さんにご出席を賜り、誠にありがとうございます。1972年の創立以来、半世紀もの長きに渡り先輩方の努力により、活動を続けていくことができました。今年度奥会長の掲げたクラブテーマとして、新たな半世紀に向かってリスタートとあります。本例会

では入会歴の浅い我々がまだまだ知らない西クラブの歴史を経験豊かな先輩会員よりお話を聞かせていただき、少しでもクラブのことを理解できるよう、そんな機会となればいいかなと思っております。そして創立記念日お祝いを皆さまとの楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。それではどうぞよろしくお願い致します。



乾杯挨拶 河西 智子 副会長

「創立記念夜間例会」



酒井 忠之 会員

皆様こんばんは。ここに立つのも10年ぶり位でございます。まず一番先に私は36歳入会しまして、私も出来る限り在籍したいと思っておりますので一つよろしく願います。それからこの度、50周年記念誌を作成しまして、河西副会長、伊東副会長が、あれだけの記念誌を作成したことを感心しております。ありがとうございます。先程会長から色々お話しありましたが、歴代の会長の名前を聞きまして、本当に懐かしく思いました。

昔は帯広ロータリークラブと北ロータリクラブ二つありました。西クラブを作った時にどうするかという事で色々揉めたみたいですが、西クラブは西五条の真ん中からしようとするので決まりました。私は西9条の29丁目の西側でしたから、推薦くれた方が、僕をどうしても入会させたいということで、無断で入会の手続きをされました。私の一つ年上で、信金の理事長だった青山さんが入ってまして、当時、緑ヶ丘支店の支店長で、お前が来たんで本当に嬉しいって本当に喜ばれました。若い30代は二人しかいなかったんですね。まあよく使われましたね。親睦は2年もやりまして、それから10年経ってから出席委員長やったり、色々国際奉仕とか、色々やりましたけれども、私はこうやって長くいられるのも、やっぱり西クラブの雰囲気がいいですね。上下がなくて、年齢もなくて、みんな優しくして本当に感謝しております。

当クラブの、私の在籍50年の間に、初めてガバナーが、柴田さんがガバナーになってもらいまして、50年に1度のガバナーでございますから。頑張ってやっていただいたと感謝しております。50周年記念誌を作るのに色々なお話でございまして、インタビューということで、会社でインタビューさせていただきました。私のインタビューが載っております。来月の10日ごろまでには大同出版さんから、出来上がってきますので、その時のインタビューに色々私のいろんな感想とか意見などが入っておりますので、それを今度はゆっくり読んで頂いたら良いと思います。それから、ガバナーの輩出年の地区大会のゴルフコンペ、十勝カントリーで優勝しまして、素晴らしい壁掛け電波時計を頂きました。今でも動いております。それから私ごとでございますけれども、北クラブの長谷川産業の社長さんが新聞出ました。101歳で亡くなりましたけれども、この人がガバナーの時に私は、出席100%の盾をもらいました。そして私は20年だと思っておりますけれども、出席100%でございまして、20年経ちましてから、もうこの辺でいいかと思って辞めようと思いましたが、出席免除という制度があるから一つなんとかやめなれないかと言うことで、まあ説得されまして。それじゃあの出席免除ができるのでしたら私もまた続けていきたいなというふうに思いました。本当にこんな長い50年の間、私の年齢の半分以上はここにきておりました。本当に感謝しております。今年もちょっと足の調子がちょっと悪いから免許証を取りに行っても認知症の検査もありますし、うまく行かないんですけども、クリアして免許をもらいました。あと、何回できるか分かりませんがこれからも頑張っていきたいと思っております。

それからちょっとメモをしてきたんですけども。とにかくうちのクラブはやっぱり人気がありますね。今在籍人数はナンバーワンです。帯広で五つのクラブです。今日、梅田さんが入会して86名になりましたか、87名になりましたか、5クラブが一番多い人数でございます。2番目が帯広クラブ。昔は100名いましたが、だんだんだんだん減って、今は84名ということでございまして。3番目が南クラブ64名になっております。次に北クラブが62名、東クラブが40名と言うことでございまして、まあ私たちのクラ

ブがこんなにいっぱいの方が集まってくれていただきまして、やっぱり私が思った通り素晴らしいクラブだな、人気があるなど。みんな優しいし、分け隔てなく、面倒を見てくれると思います。

これからも皆さんもとにかく50年って言わないで、60年も70年でもできる限り在籍していただきまして、クラブのために頑張ってくださいと思います。本当に色々ありがとうございます。



笹井 祐三 会員

皆さんこんばんわ。出席免除会員というお話が先ほど出ましたけれども、それに甘えて籍を置いて、本来お話をする立場じゃないなと思いが、35年です。バッヂ去年いただきました。35年のバッヂをつけた以上は責任があるかなと思って、この場所に立っております。過去から未来へという、テーマなので、わたくしが87年の2月5日に入会しておりますが、その入った頃のお話をさせていただきます。幹事一生懸命やりましたんで、その頃の思い出、これからのロータリーについての私が思っていること。この3つをお話したいと思っております。

入った頃は、とにかくあの当時、チャーターメンバーの方31名いらっしゃいますが、そのほとんどの方が残っておられまして、先ほども7名の発起人が出てましたけど、あのうち6名わたしも全部お話をしております。ロータリーでしたかどうかはちょっと別業界でした方もいらっしゃいますので。まあ五名がロータリーで、もうひとりの方はロータリーじゃなくて業界でお話したんじゃないかなということで、とにかく皆さんお元気でした。特にあの当時はですね、茨木さんのお父さんもいらっしゃいましたし、それから深澤さんのお父さんもいらっしゃいます。川田さんのお父さんもいらっしゃいました。とにかくチャーターメンバーという、もちろん、あの後から入って方もいらっしゃいますが、非常に活気があったという印象があります。今でももちろん活気がありますが、当時の活気の中ではですね、特に、ロータリーの心っていうのか、ロータリーの心を人生の中に活かすんだってようなそんなお話を聞かせていただいたり、とにかくロータリーの心を学ぼうというようなことを会長方針として出されたような形がたくさんいて、新入会員として付いていったような印象がございます。その中で、先ほど三浦悟さんのお話が出まして、この方は六花亭の専務さんをやってられて、六花亭の社長創業者の方を、支えながら、六花亭の基礎を作られた素晴らしい方です。この方非常に厳しい方でしたけども、西ロータリークラブのマナーの基本っていうんですね、多分会社で総務かなんかやってたんでしょう。いろんなことをきちっと例えば包装紙なんかも、多分三浦さんが六花亭の作ったの発案というか、そういう段取りしたというふうに聞いてますが、色んな意味で会の基本的なものを組立てた方じゃないかなと思います。わたくしは当時入った時に、三浦さんっていう方を見ておまして、そんな素晴らしい方がたくさんいた会でございます。それから当時、出席に対して非常にきちんとされてましたし、私が入った時には東クラブの何かが出来たりして、東クラブのかたがメーキャップをするのに車に乗って、広尾ロータリーに行ってきたとか、そんなようなお話で、とにかく100%っていうのは当然だったような雰囲気がございます。私は難しいから八割行けばいいんだというような気持ちで参加してました。ちょっとデータを先ほど調べてみました。当時、創業時の記録によると創業して2、3年の目の記録だと思っておりますが、42人の会員がいて、86%、36名の方が100%出席されました。それから私の幹事をやってた時、86名いたんですが、そのうち69名が100%、88割以上が11%、6割から8割

までが22名、66割以下が44名。この中には体調崩されたりして少なかった方もいらっしゃいます。そういうことで、80%の方が100%出席です。令和3年度、昨年の活動報告書を見ますと100%出席が34名、86名中40%と言うことです。メンバーが変わって、一年間の中でやってもいいやっていうようなことになってるようですが、色々ほかのクラブに行って100を達成するっていうのも、一つ大事なんじゃないかなと思います。それぞれの考え方がありますので、皆さんで考えていただければと思います。ただ、当時はロータリーの活動にはクラブ奉仕はまず出席からという言葉もあったぐらいでしたので、参考までにお話しさせていただきます。それからわたしが幹事やったときには、河西さんのお父さんが会長でして、河西さんの会社にいろいろ報告に行くんですが、それが楽しみで楽しみで、本当に一生懸命やった記憶がございます。河西さんからいろんなリーダーとはこういうものだというのを勉強させていただいた記憶がございます。本当に今でも感謝しています。

次にこれからのロータリーということなんですが、会報にもいろいろ会長さんが出てますけども、ジェニファー・ジョーンズさんが、多様性公平さインクルージョンという言葉を出してありますが、インクルージョンと多様性、似てるような気がしますけども、いずれにしてもこういうことがこれからの時代大事なんじゃないかなと思いますし、追加するとすれば、私にはやっぱり平和を目指すロータリーであって欲しい、個性を大事にするロータリーであってほしい。また職業奉仕ですが、私が入った頃に、ロータリー一生懸命やるのはいいけども、会社のことおろそかにしちゃだめよ、疎かにしてる人もいるねっていうようなことを聞かされたことがございます。やっぱり職業あつてのロータリーだと思いますので、職業奉仕はやっぱりロータリーの基本だと言うことを忘れないようにしながら、多様性、公平さ、インクルージョン平和、個性っていうものを追求して行っていただければと思います。2021年11月11日の例会で、小谷会長がいわゆる高松ロータリークラブの方に仲のいい会だねって言われて、本当に誇らしげに思ったということをおっしゃってました。本当に仲の良い西ロータリークラブだと思います。北海道一、日本一、そして開拓者精神、溢れた西ロータリークラブであってほしいなあと、わたくしの話にかえさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



鈴木 享会員

鈴木でございます。まず、今日は梅田さんが入会されました。大歓迎でございます。私は数年前からお世話になっておまして。コロナが始まった頃ですとか、マスク取った顔ってのは初めて拝見しました。今日は西クラブの創立記念日ということで、私も記念誌部会に関わっておりました。この間に、約300人の会員の方がいらっしゃいました。非常にユニークな先輩、強烈な先輩がたくさんいらっしゃいました。それぞれの人がそれぞれの思いを込めて、現在の西クラブを作ってきたんだと改めて感じるところでございます。私の脳裏に浮かぶ、数人に絞ってですね、ちょっと話をしたいというふうに思います。語り継ぎをしたいなというふうに思います。

この語り継ぎというのは、非常に大事だなと思ったのは1月26日の例会で、河西副会長がサイロについてお話をしました。正式にはスマイルボックスと言うですけども。十周年記念の時に作られまして、実は私、全く知らなかったんです。こういうことを語り継いでいくことは非常に大事なことだということで、今日少し語り継ぎをしたいなと思います。まず、冒頭にもありましたけれども、宮野永大先輩です。チャーターメンバーにして初代幹事です。非常にイケメンの方でして、年を重ねても大変ハンサムです。本当に長きにわたって、西クラブを築いて、そして発展させて、会員の心の支えであり続けたと思います。私は個人的にも大変お世話になりまして、入会以来、何かあるたびに常に声をかけてくれました。非常に温かい事ばかりでございます。私がああ会長に指名された時ですね。ノミニーの頃から、常にとにかく頑張れよとか頼むぞとかしっかりなとかってことで、顔合わせ度、言葉をかけていただきました。かなりロータリーについてはいい加減な私なんですけれども、さすがに宮野さんから、これだけ言われますと、やっぱりやらなきゃならん。気持ちだけはそういう風になったことを覚えております。私が会長になった年度に、宮野さんにはそのテーブルに座っていただいて、今日は50点だとか、もう少しロータリーを勉強しろとか、たまにはですね、良かったぞとか、ほめてもらったり、評価されてま

した。ですけども、私が会長年度に入る数週間前に亡くなってしまったんですね。いまだに私も残念でならないほどでして、心残りなことです。本当に皆さんにも褒めてもらったし、叱ってもらいたかったなというふうに思います。西クラブの会員の皆さんならばですね、この宮野さんのことを是非知って欲しいと思います。60代以上の方だったら、必ずあの宮野さんと面識があるとおもいますが、若い会員の方は宮野さんってどんな人と言うことをぜひ聞いてもらいたい。この西クラブのチャーターメンバーで、そして大黒柱であった宮野さん。これを若い会員の皆さんが是非脳裏に置いておいて、それから、宮野さんが持ってきた、意志と情熱というものを、ぜひ繋いでいってほしいというふうに思います。これが今日のあの主題だと思います。

話題はちょっと変わりますが、これやっぱ取り上げたい先輩。ゴルフ三人衆ですね。なんといっても第一に川上哲平さんです。私が入会した時の会長さんでした。会長報告というよりもスピーチですね。このスピーチが専門の医学、あるいは天文学、いろんなところに飛ぶんですね。本当にあの話題の豊富な方で、いつも興味津々でございます。おまけにそのユーモアにあふれていた。まあ、そういうスピーチだったんですね。私もあの40そこそこ、もうちょっと途中いてましたけど、や料理の味なんか全く覚えてないんですけど、唯一この川上会長のスピーチを聞くことが楽しみだったわけなんです。川上さんというゴルフなんですけれども、西クラブにもゴルフやる方がまあ大半でしょうけれども。川上さん、最初のエージシュートが68歳の時。これを聞いただけでも只者じゃないなというふうに皆さんすぐわかると思うんですけども、もっとすごいのはパープレーですね。これのスコアを七回出しているようでそれを合せて60回以上のエージシュート。後半はですね、ゴルフやったらもういつもエージシュートということで、クラブでお祝いの会場もうけましたけれども。その日も午前中にゴルフに行かれて、エージシュートやって会場に来まして、とにかくすごい腕前でした。ある時、川上さんに何でそんなに上手なんですかと聞きました。一生懸命やったんでしょうけど、バンカーですか、これがやっぱり苦手と言えど苦手だと言っておられました。世の中上手くできたもんで、川上先生のご自宅の向かい側が帯広競馬場、芝を張った練習場、小さな練習場がありました。その中にバンカーがあるんですね。だから俺が努力してたというのは、バンカーの砂をこっからこっかに移して、こっからこっかに移したその二、三回やったんだとしたら、最近バンカーもそんなに苦手じゃなくなったよと、そんなことおっしゃってました。

次に私の紹介者でもある石原勉さんです。ある日、ちょっと来いって言われましてですね、会社にお尋ねしました。そうすると、普通には簡単に入れないロータリークラブというのもある特別なんだ。特別だけれども、お前は紹介してやるから。そういうことを言われて、私もそのなんか噂なんか聞いてましたんで、遠回しに断ったんですね。そうすると、次には俺の顔に泥を塗るのかと言うことで強要されて、それで入ったんですけども、でもそれとは別にですね、随分と可愛がって頂きました。同じ業界ですから、よくあの雑巾がけをしろと言うことを言われました。それを言われ続けて、こき使われてきました。でも今の自分を振り返ってみると本当にお世話になったんだなとつくづく思うところ。石原さんはあの麻雀も凄腕です。私は麻雀というのは麻雀牌、ゴルフというのはゴルフクラブ、これを使ってやるものだと、そういうふうになっておりますけれども、あの方は、一つ武器があるんですね。この口なんです。口攻撃がすごいですね。多分被害に遭った会員の皆さんもいるんじゃないかと思っております。要するに麻雀時もゴルフの時も二つ武器を持ってやりますから強いんですね。こんなこともありまして。ある時、メンツが揃わないので、お前やられてことやらされました。私は素人みたいなもんですから、大三元とか小三元とかそのぐらいのことは知ってますけど、点数を数えることができませんので、全く素人でやったんですけども、勝ったんですね。ピギナーズラックというのでしょうか。非常に気分のいいことですよ。でも石原さんはですね、後々まで非常に悔しがってました。でも石原の素晴らしいのはですね、もう一回やろうとは決して言わなかったことですね。それはそのままにしておくんですね。素人だから相手ならんということなのかもしれないけれども、私がピギナーズラックで勝ったことを悔しがっていても、それを大事にしてくれたということ、これはぜひぶん後から、自分で気づいたことなんですけど、さすが石原さんというふうに思いました。もう一人ゴルフでいいいますと黒澤洋一さんという方がいらっしゃいました。途中退会されましたけど、このかたも大変ゴルフの上手な方で。ただ、黒澤さんですね。あのあこがれの甲子

園に、もちろん野球です。野球で選手で一度監督で一度あのあこがれの甲子園に二度も出場されました。一回目は北海道代表ですね。当時、南と北がございませぬ。でしたから北海道代表になって選手でキャッチャーとして出場されて、一回戦を勝ったんですね。そしてその後帯広三条高校の監督として、その時もまた甲子園に行かれます。若い人だったら誰もが憧れているこの甲子園にですね。立場二つの立場で立つて言うのはそうそう聞く話じゃないし、二つの、大きな夢を叶えられた素晴らしい人だったと思いました。黒澤さんに一度伺いましたね、なんか練習方法でもあるんですか？と聞いたら、クラブを振って振って振りまくるんだということをおっしゃられて。自慢じゃないけれども、俺はうちに帰るときには振って家に入る。すぐ家に入れないんだ。もう振って振って振りまくって、もう腰も何もボロボロになって、這うようにして家に入るなんて、それが上達の方法かな。なんてことゆっております。私と黒澤さん同じ町内会でございます、ロータリー退会後も、本当にいつも声をかけてくれました。今日唱和しました、それでこそロータリーですね。まさにもうそのとおりの方ですね。非常に柔和な表情で、いつも声を掛けて手を挙げてくれました。それから思い出に残る方という岡田武稔さんですね。こちらはゴルフはゴルフでもパークゴルフでしょう。この岡田さんが会長の時ですね。会長のテーブルにいつも卓上バラ置いてあったんですね。しかもそれは庭の花畑から持ってきた全ての花で、野原から。とってきた花を飾ってたんですね。大変ですって言った、5時に起きて例会前に花を摘んでくるんだと。非常にセンスのある方です、私もプログラム委員会で一緒しました。当時はですね、プログラム委員会というのは例回数がたくさんありましてですね。確か十何回ぐらいですかね。私なんかもうネタ切れになるんですね。だから、そういう時にセンスに溢れたプログラムを提供してヘルプをしてくれます。いつもあの冗談ばかり言う人なんですけれども、本当にシャイで美意識があった、そういう方だったと思います。それから忘れてならないのは、やっぱり小室睦雄さんです。いつもどんなときでも、まさにザ・ジェントルマン。ジェントルマンその言葉が本当に相応しい方だったように思います。帯広商工会議所の専務をやっておられましたけれども、この時、商工会議所が取り組んだのは鉄道高架で。実際のところ、専務はもう最前線で頑張らなくちゃならないんですね、長年、帯広市民と帯広商工会議所、その他の団体が非常に念願であった鉄道高架、これを成し遂げた方で、今思ってもですね、この帯広で鉄道が鉄道高架になっていることが、どれほど町が変わったか、まさに、街の大改革をされた方でございます。私の会長年度ですが、非常に困難な状況であったんですけども、ご自分を殺してまで、大会実行委員長の重責を担っていただきまして、十二分に発揮されたんですけども、私はもう生涯、小室さんのことを忘れることができない、恩義も感じますし、非常に感謝しております。6年私がまだ会長でいたけれども、6年の春にですね、突然会社に来られました。ええ退会したい。いうことを言われましてですね、わざわざ会社に連れて来られて退会届を出されます。5月9日桜が満開の日でした。今でも覚えております。この時、私ですね、その時の小室さんを見ての印象からですね、頭に浮かんだ言葉は人は武士。花は桜木という事でした。まさにそれがぴったりの方です、人はどうあるべきかというのをいろんな場面で教えられた思いをしておりました。以上私が今印象に残っている先輩です。最後に少し変わった話

をしたいと思います。東京銀座の高級クラブ。稲葉というところのママさんが白坂亜紀さんと言います。女子大生の頃からママをやったそうで、かなり有名な方ですが、何年前に本を買って読んだことがあります。非常に強烈な印象を持っております。先日ですね。この方が帯広で講演会をやるというそういう機会にめぐり合っております、もう是が非でもということで行ってまいりました。おもてなしについてということでお話をされて、まあとても我々が想像もつかないような素晴らしいおもてなしをしたんですけど、その中で一つ印象に残っている言葉がある。白坂さんが長野県のローカル線に乗っていた時だそうですね。あの大勢の女子高生が乗ってこられた。そこに一人おじさんがいて、おじさんが缶コーヒーを飲んで飲み干したらこれを捨てようと思ったら捨てる場所がないんですね。そうすると、その女子高生のうちの一人が、列車の中では捨てる場所無いで駅で止まったら、そのホームに必ずゴミ箱がありますから、みんなそこですてるんですよ、そういう話をされて、そうかと思った。次の駅で止まったときに、その女子高生たちがぞろぞろ降りていったんですけども、さっき話したその女の子がちょっと手を出してくれた。空になった缶コーヒーを持って、下車して、そのホームのゴミ箱に捨てたそうなんです。おじさんは大変感激してありがたいと言えぬいんですね。おじさんだけでも感激し、窓を開けて長野大町高校の女子高生万歳って言ったそうですね。白坂さん曰くですね、そっと手を出すのも、感激をして万歳と叫ぶのもこれもう日本人だろうと。日本人の心がそこにあるんじゃないだろうかと非常にあの印象深くお話をされておりました。

我々2年後にはですね、ガバナーを輩出して2度目になりますけれども、いろんなことに取り組まなかったありません。地区大会が開催されます。この地区大会はですね、西クラブの総力あげて全員の力をあげて取り組んでと思います。そうしますと今日ちょっとお話しました、ジェントルマンということが非常に大事だと思いますし、人は武士、花は桜木というそういう心意気も大事ではないかなというふうな、つまり地区大会の実施というのは。我々の2500地区へのおもてなし。それから藤野、我々西クラブに対するおもてなしであると同時に、自分自身に対するおもてなしでもあるんじゃないかと思えます。もちろんガバナー実行委員会も先頭に、いわゆる心意気が大事であるということですね。皆さんと共有したいなというふうに思えます。結果、何があるんだと言うと何もありません。さすがにクラブと言われるのが、成果といえば成果といえるんじゃないかと思えます。私も含めてですね、我々が全員で万歳を叫ぶように、そういうガバナー年度にしたいなというふうに思えます。そういった知恵というのは、先輩が今まで与えてくれてるわけですから、ぜひ、先ほどお話しましたけれども、若い年齢の会員、40代50代の方は、今60代以上の会員の人が昔どんなでしたかというふうなすれば必ず何かを話してくれる。そういうことを大事にしていきたいと思う。2年後、皆さんで万歳を叫ぶような、そういうガバナー年度にしたいです。以上これで終わります。



締め挨拶 高田 晃一 副会長

<p>第51回 創立記念例会</p>	<p>黙 祷</p>	<p>祝 詞 文</p>	<p>ないで言葉</p> <ol style="list-style-type: none"> 我々は 幸福のない交際を目標し、友情の輪を広げる 我々は 他に依存することなく自らを養ふ 我々は 共に家業をもって行動する 	<p>帯広西ロータリークラブ 小室</p>	<p>会長 ご紹介</p>
<p>第51回 創立記念例会</p>	<p>祝 詞 文</p>	<p>祝 詞 文</p>	<p>ないで言葉</p> <ol style="list-style-type: none"> 我々は 幸福のない交際を目標し、友情の輪を広げる 我々は 他に依存することなく自らを養ふ 我々は 共に家業をもって行動する 	<p>第51回 創立記念例会</p>	<p>西井 忠之 会長</p>
<p>西井 忠之 会長</p>	<p>鈴木 亨 会長</p>	<p>第51回 創立記念例会</p>	<p>第51回 創立記念例会</p>	<p>～2次会のご案内～</p>	